

事業所名

ふりーすたいる にここ事業所

支援プログラム (参考様式)

作成日

R7

年

1月

15日

法人（事業所）理念		我々ふりーすたいる にここ事業所は教科カリキュラムを通し教育に必要な学び方、回答を導き出す力=自信を身につけ、いつでも「にここ」できる環境作りを追及し続けます。										
支援方針		基本的生活動作の指導や集団生活への適応訓練、学習・作業等の療育を行います。子どもの自立を促進すると共に、安心して過ごせる居場所づくりを大切にしています。										
営業時間		9	時	0	分から	18	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容												
本人支援	健康・生活	利用者一人ひとりの心身の状態を把握し、障害の特性及び発達の過程・特性に配慮しながら、健康面の観察を行います。また、基本的生活動作の自立に向け、支援していき生活の質の向上を行って行きます										
	運動・感覚	ご利用時間に応じて、屋外では事業所周辺のウォーキングや地域の小学校や学童での運動療育、屋内ではリトミックや体幹トレーニングで運動の機会を提供します。感覚については、指先トレーニングを中心に巧緻性（手先や指の細かな動きを巧みに使いこなす能力）を高めて行きます。										
	認知・行動	必要な情報を収集して認知の発達を促し、数量・形の大きさ・重さ・色の違いなどの習得、学習理解を高めていきます。また、適切な行動ができるように支援していきます。										
	言語 コミュニケーション	利用者一人一人が抱えるコミュニケーションの課題を抽出し、特性に合ったコミュニケーションスキルの向上または言語化、表現ができるように支援を行います。月1回言語聴覚士が訪問し、必要に応じて言語訓練・検査等を行い、必要な支援の提案をしていきます。										
	人間関係 社会性	様々な経験を通して、相手の気持ちを知る、または伝える感覚を獲得し、人間関係の構築を支援します。また、買い物トレーニング等で地域資源を活用しながら、状況に応じた行動ができるよう社会性を向上させて行きます。										
家族支援		ご家庭での課題を利用者の将来の課題として捉え、「今」必要な支援をご家族のご意向も踏まえながら支援を行います。				移行支援		利用者一人一人の障害の特性や性格、興味関心を担保し、ご家族の意向も伺いながら、将来を見据えた支援を行います。				
地域支援・地域連携		必要に応じて関係機関との連携または活用可能な行政サービスの提案を行います。地域の学童と交流を図り、関係性を築いていきます。				職員の質の向上		適時、職員間で情報共有を行い、利用者の課題を把握し、それに紐づいた勉強会を開催する事により、職員のスキルアップを行います。				
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 誕生日（職員からプレゼントをもらう） 季節に合わせたイベント（クリスマス、ハロウィン等） 外出（買い物トレーニング、水遊び、体育館での運動等） 避難訓練（火災、地震、消防署見学で体験学習） 										